令和6（2024）年度 児童館事業年間活動報告書

高野児童館

	活動名	実施回数	参 加 人 数											内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア			合計				
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人					
基 本 子 活 動	(1) 日常の自由遊び活動	随時															
	(2) 遊びの教室活動																
	工作「ぶんぶんゴマを作ろう！」	6		3	77	1	2						83	申込制。厚紙でぶんぶんゴマを作る。	工程表を分かりやすく張り出し、作業工程を少なくしたことで混乱なく取組めた。幅広く周知する為、事前周知を学童クラブの帰りの会でも行う。子どもたちに大きいぶんぶんゴマを回して見せた事も興味を持つきっかけとなった。今後も周知方法を工夫していきたい。		
	工作「ブラバン」	6			57	1	9						67	申込制。ブラバンを作る。	各自で描きたい絵を持ってきてもらった。下絵選びがないので混乱なくスムーズに出来た。ただ、下絵を何度も各自で持ってくるように伝えていたが、持ってきていない子も多かった。実物を見せて丁寧に説明する工夫を検討していきたい。		
	工作「干支のはりえ」	19		4	82	7	2	1	1				97	申込制。お正月に向けて干支の巳の貼り絵を作る。	干支のはりえをゆっくりに楽しめた。工程表を作りわかりやすくしたことで、どの学年もスムーズに仕上げる事ができた。関係機関へのプレゼント用も高学年が作ってくれた。今後も継続していきたい。		
	工作「バレンタインラッピング」	1		10	4	2							16	申込制。お菓子を可愛くラッピング。	事前周知に学童クラブ帰りの会などで見本を見せる。おたよりの申込書には実物の写真を載せたことも興味に繋がった。身近な材料を工夫次第で可愛くラッピングできる楽しさを伝えられた。季節感のある工作は今後も継続していきたい。		
	七夕たんざくをかこう！				53		1						54	七夕のたんざくに願いを書く。	七夕の短冊に各自の思い、願いを書き、季節行事の良さを知る。家族を気遣う短冊などもあり、子ども達の素直な気持ちを書いていた。呼びかけの工夫は必要。		
	京都の文化財を描こう	5			22								22	京都の文化財を描く。	夏休みで、時間に余裕があり取り組めた。文化財の写真を見ながら描いたが、集中して取り組む事ができた。突発的であってもイベントがあれば、今後も参加を検討し、呼びかけに工夫を凝らしていきたい。		
	多世代交流 左京老センいきいきサロン交流	1			17		2		24				43	体操やゲーム等で交流	高齢者と子ども達が交互に円形に座り、ゲーム等で楽しく交流する。お互いのことを理解する良い機会となる。交流内容については低学年でも分かりやすい内容に事前に調整しておくよ。		
	かまぼこおとしであそぼう	1		4	14	2	1						21	かまぼこおとしの技やルールを知り、実践して楽しむ。	かまぼこおとしを知ってもらい、伝承遊びの楽しさや、今後次世代へ受け継いでいけるようにすると共に、かまぼこおとしを大会に向けての取り組みで、技やルール確認、徹底を図った。大会への参加意欲に繋がる。		
	多世代交流&工作教室	1		1	15	1			16		10		43	実験&バスボム作り。	老人福祉センター主催、京都工芸繊維大学ボランティアサークル共催。他世代交流も行いながら、光る実験やバスボムづくりに集中して取組めた。今回も自己紹介から入ったことで、交流もしやすかった。今後も事前打合せに児童館も参加して、子ども達の戸惑いがないように工夫していきたい。		
	(3) 行事活動																
	おかいものごっこ実行委員会	4		3	93	3	3						102	おかいものごっこに向けての取り組み。	お店当番の担当者決めや、当日のお店準備では1年生や買い物中の困った子のフォローをしてスムーズにお買い物出来る様にした。今後も継続していきたい。		
	おかいものごっこ	7		16	434	20	19	1					490	申込制おやつをおかいものする。	買い物する場所の都合上、人数制限してお買い物してもらい、買って直ぐ育成室Bでおやつを食べた。自由来館者も一緒に食べることが出来た。子どもがおかいものを楽しめた。目玉商品の工夫や、食べたことの無い駄菓子へ興味引く工夫を検討していきたい。		
	けん玉検定・モシカメ記録会	12		1	226	1	43						271	けん玉検定・モシカメ記録会を行う。	けん玉検定、モシカメ記録会を実施したことで、検定合格を目標に日々頑張る子どもたちが増えた。練習が実って合格することや記録更新することで、達成感を味わい、自己肯定感を高めることができた。自由来館者への声掛け方法の検討必要。		
	マンカラ大会	1		15	9	3							27	申込制。マンカラ大会を行う。	マンカラ大会を実施した事で、普段以上に集中してとりくめた。お互いに自然と頑張り認め合っていた。大会だけでなく遊びの中で、ルールは徹底しておく必要がある。		
	たかのまつり実行委員会	5		4	20	14							38	たかのまつりへ向けての取り組み。	3年生以上のメンバーを募り、あそびコーナーを企画運営や当日の司会進行も高学年が行った。コーナー準備段階から集中して取組んでいた。今後も継続していきたい。		
	かまぼこおとし大会	1		2	18	2	2						24	申込制。かまぼこおとし大会を行う。	かまぼこおとし大会を行ったことで、日常の遊びでかまぼこ落としを楽しむ子どもが増える。遊びの幅が広がると共に、伝承遊びの楽しさを、学年を越え楽しめるようにしていきたい。		
こま検定	8		1	107		7						115	こま検定を行う。	こま検定を実施したことで、検定合格を目標に日々頑張る子どもたちが増えた。練習が実って合格することで、達成感を味わい、自己肯定感を高めることができた。自由来館者への声掛け方法が検討必要。			
おでかけ「梅小路公園へ行こう」	1		2	24		1					1	28	館外におでかけ。小学生以上申込制。	梅小路公園まで、地下鉄を利用。久しぶりのおでかけ企画で、子ども達も職員も不慣れなことが多く、改札で切符の取り忘れ等もあったが、大きなけがなく楽しんで過ごせた。今後の課題としては、公共交通機関利用の場合は、団体扱いとしてもらい、改札を切符なしで通れるようにしたい。			